

つぎの快適をつくろう。

**CORONA**

# 2022年3月期 決算説明資料

代表取締役社長 大桃 満

東証スタンダード市場 証券コード 5909

<https://www.corona.co.jp/>

2022年 5月

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績につきましては、今後様々な要因により見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

## 1. 2022年3月期 連結業績ハイライト

## 2. 2023年3月期 計画

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

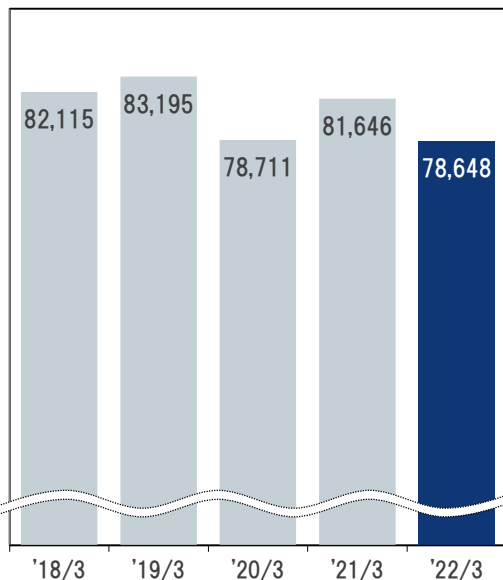
(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	81,646	78,648	△2,997	△3.7
営業利益	953	850	△103	△10.8
経常利益	1,283	1,195	△88	△6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	626	939	313	50.1

### 主な増減要因

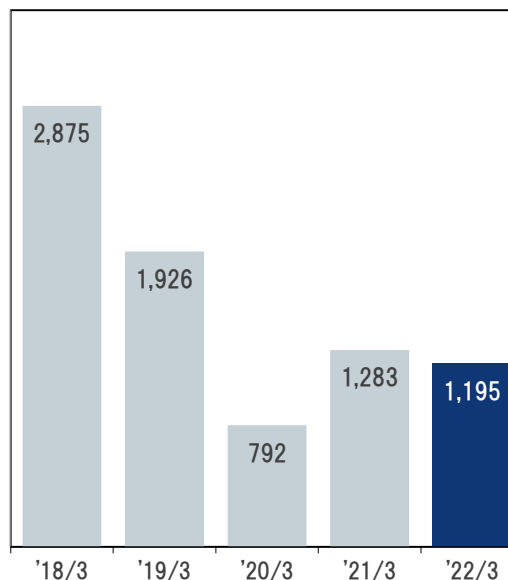
- 売上高 空調・家電機器、暖房機器の販売減少により前年を下回る
- 利益面 原材料価格の高騰や暖房機器、空調・家電機器の販売減少などが影響し  
営業利益は前年を下回るも全社的な経費削減に取り組んだ効果もあり経常  
利益は前年並み  
前年に比べ特別損失が大幅に減少したことなどにより当期純利益が増加

(単位：百万円)

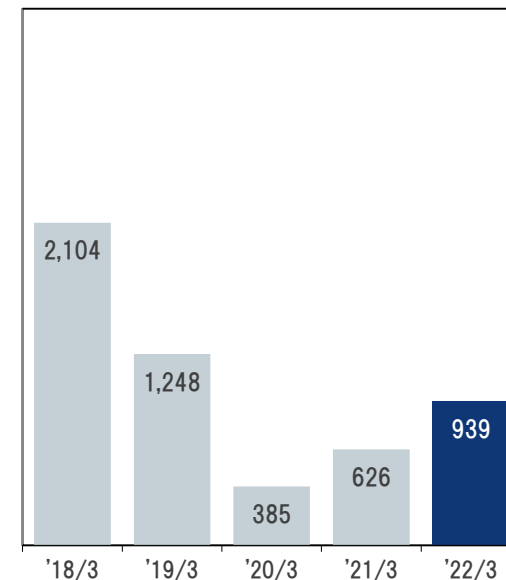
### 売上高



### 経常利益



### 当期純利益



※2018年3月期から2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」

(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

### トピックス

- 売上高はエコキュートなど住宅設備機器が前年を上回ったものの、ルームエアコンなど空調・家電機器、石油ファンヒーターなどの暖房機器の販売減少が影響
- 原材料価格の高騰や売上減少等があったものの、全社的な経費削減に取り組んだ効果もあり経常利益はほぼ前年並み  
前年計上した投資有価証券評価損等の特別損失が大幅に減少したことなどにより当期純利益は増加

## 連結P/L分析（売上高～経常利益）

（単位：百万円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率（%）
売上高	81,646	78,648	△2,997	△3.7
売上原価	62,969	61,249	△1,719	△2.7
売上総利益	18,676	17,398	△1,277	△6.8
販管費	17,723	16,548	△1,174	△6.6
営業利益	953	850	△103	△10.8
営業外収益	347	352	5	1.5
営業外費用	17	7	△9	△55.1
経常利益	1,283	1,195	△88	△6.9

## 主な増減要因

- 売上原価 原材料価格の高騰等により原価率が上昇  
(原価率：77.1% ⇒ 77.9%)
- 販管費 全社的な経費削減効果もあり販管費は減少  
(販管費率：21.7% ⇒ 21.0%)
- 営業利益 原材料価格の高騰、暖房機器や空調・家電機器の販売減少が影響

## 連結P/L分析（経常利益～当期純利益）

（単位：百万円）	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率（%）
経常利益	1,283	1,195	△88	△6.9
特別利益	12	18	6	50.8
特別損失	242	13	△229	△94.4
税金等調整前 当期純利益	1,053	1,200	146	13.9
法人税等	427	260	△166	△39.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	626	939	313	50.1

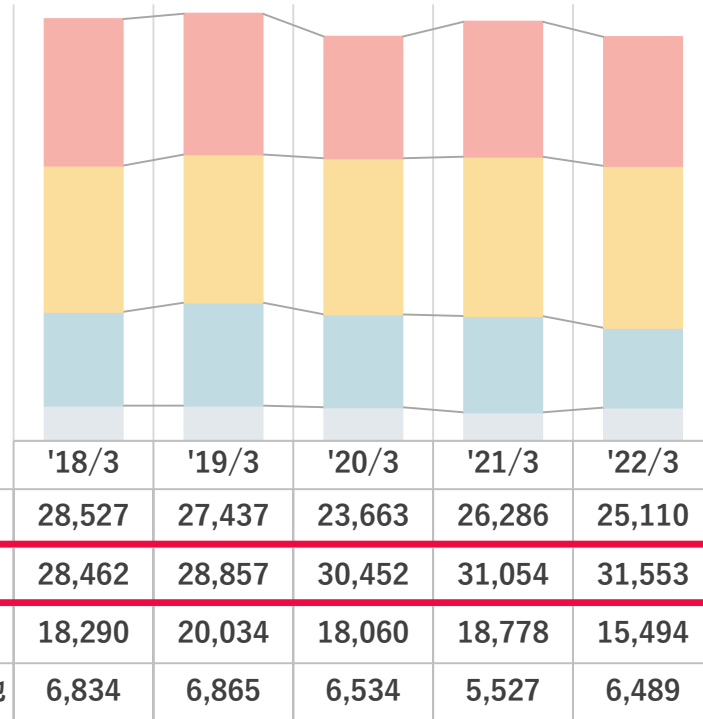
## 主な増減要因

- 特別損失      前年は投資有価証券評価損を計上

## 連結売上高・製品種類別構成推移

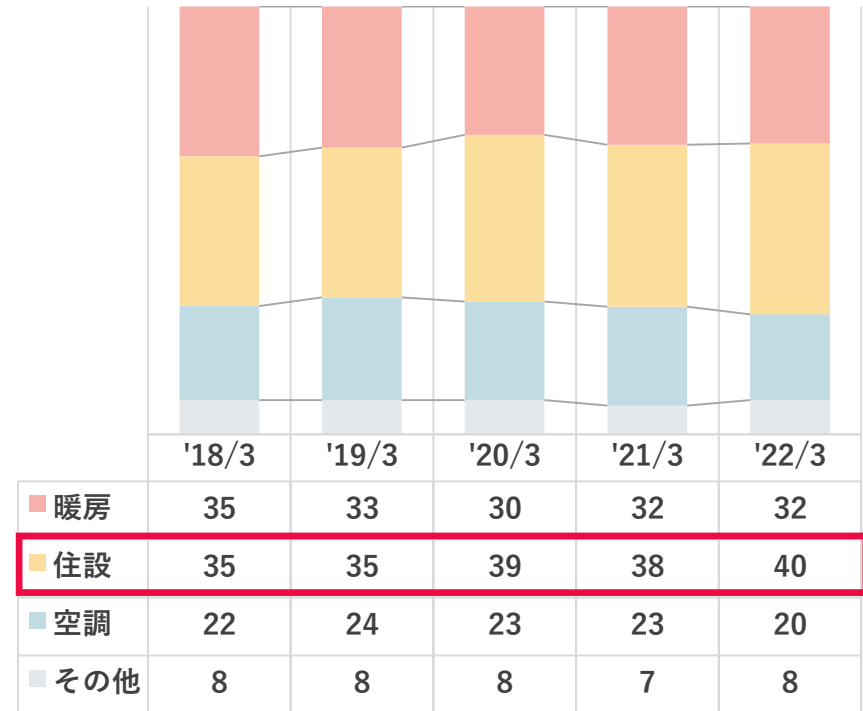
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)



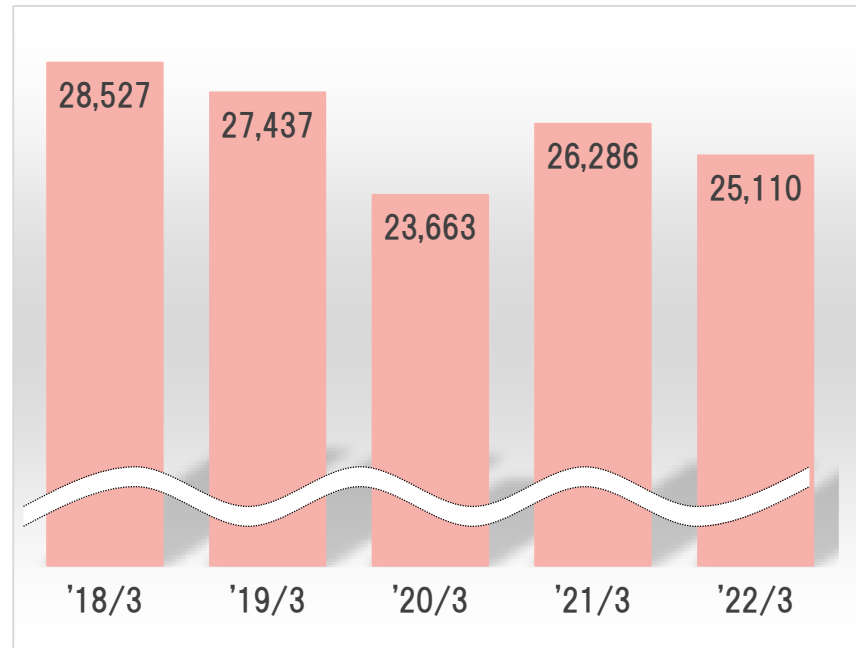
※2018年3月期から2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## トピックス

- 住宅設備機器が伸長し構成比は38%から40%に上昇
- 空調・家電機器はメーカー間の販売競争の激化や昨年支給された特別定額給付金による特需の反動などが影響し構成比が23%から20%に減少

## 売上高推移

(単位：百万円)



### 主要製品販売台数 前期比増加率

石油ファンヒーター	△ 2.5 %
寒冷地向け石油ストーブ	△ 6.9 %



遠赤外線電気暖房機

寒冷地向けFF式  
石油ストーブ

石油ファンヒーター

※2018年3月期から2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## 主な増減要因

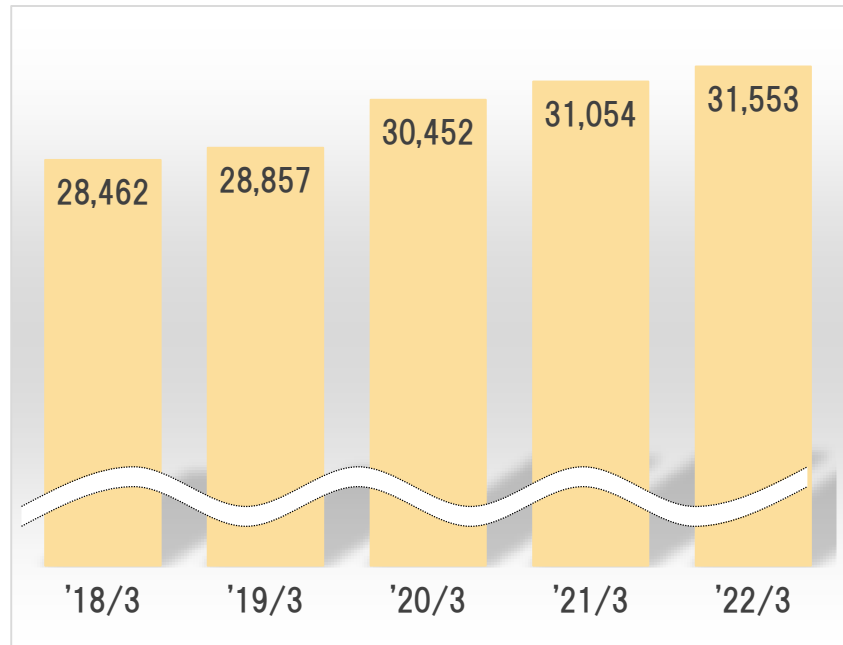
- 世界的な電子部品類等の不足に伴う調達難により、遠赤外線電気暖房機、寒冷地向け石油暖房機、石油ファンヒーター等の生産・販売活動に影響
- 12月後半まで気温が高めに推移したことや灯油価格の高騰などもあり前期を下回る



## 製品種類別売上高分析 住宅設備機器

## 売上高推移

(単位：百万円)

主要製品販売台数  
前期比増加率

エコキュート

+ 7.7 %



エコキュート

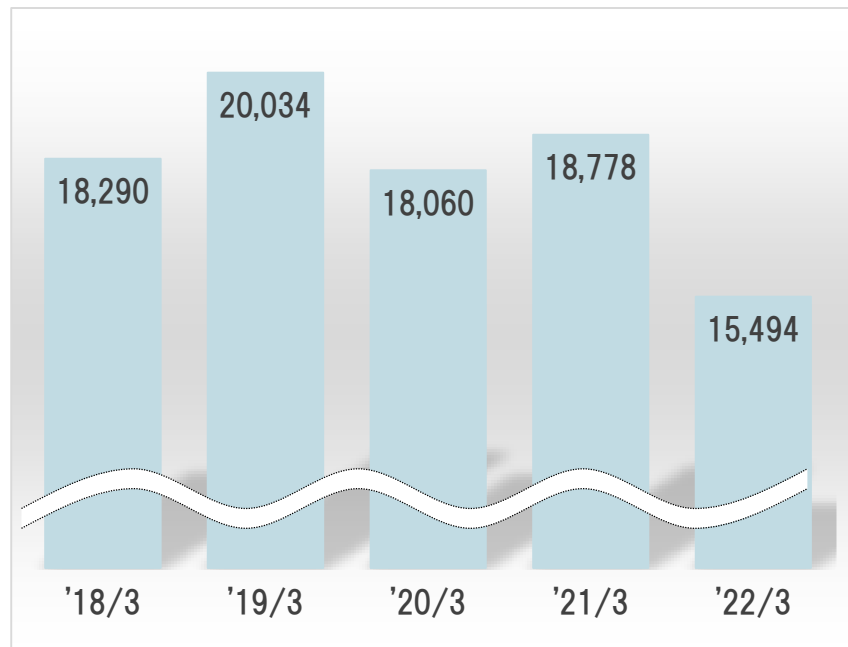
※2018年3月期から2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## 主な増減要因

- 世界的な電子部品類等の不足に伴う調達難により、エコキュートや石油給湯機の生産・販売活動に影響
- 住宅市場の一部回復やエコキュートの買い替え需要の拡大もあり前期を上回る

## 売上高推移

(単位：百万円)



## 主要製品販売台数 前期比増加率

ルームエアコン	△ 20.5 %
除湿機	+ 0.4 %



ルームエアコン

除湿機

※2018年3月期から2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## 主な増減要因

- メーカー間の販売競争の激化や昨年支給された特別定額給付金による特需の反動などが影響し前期を下回る
- ルームエアコンは、熱交換器洗浄機能や「コロナ快適ホームアプリ」による遠隔操作を可能としたセパレートタイプやウインドタイプなどの提案活動に注力
- 除湿機は部屋干し需要の増加などもあり前期を上回る



## 連結B/S分析

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
(資産の部)				
流動資産	56,368	55,265	△1,103	△2.0
固定資産	42,253	43,038	785	1.9
資産合計	98,621	98,304	△317	△0.3
(負債の部)				
流動負債	22,697	23,470	772	3.4
固定負債	2,845	2,053	△791	△27.8
負債合計	25,543	25,524	△18	△0.1
純資産合計	73,078	72,780	△298	△0.4
負債、純資産合計	98,621	98,304	△317	△0.3

## 主な増減要因 (単位：百万円)

- 資産の部 現金及び預金△1,493、受取手形△524、電子記録債権△748、有価証券+1,320、投資有価証券+1,111
- 負債の部 支払手形及び買掛金+725、未払法人税等△286、流動負債のその他+374、繰延税金負債△171、固定負債のその他△618
- 純資産の部 利益剰余金+121、その他の包括利益累計額△459

# 2023年3月期 計画

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 見込み	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	78,648	82,700	4,051	+5.2
営業利益	850	1,200	349	+41.1
経常利益	1,195	1,600	404	+33.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	939	1,000	60	+6.4

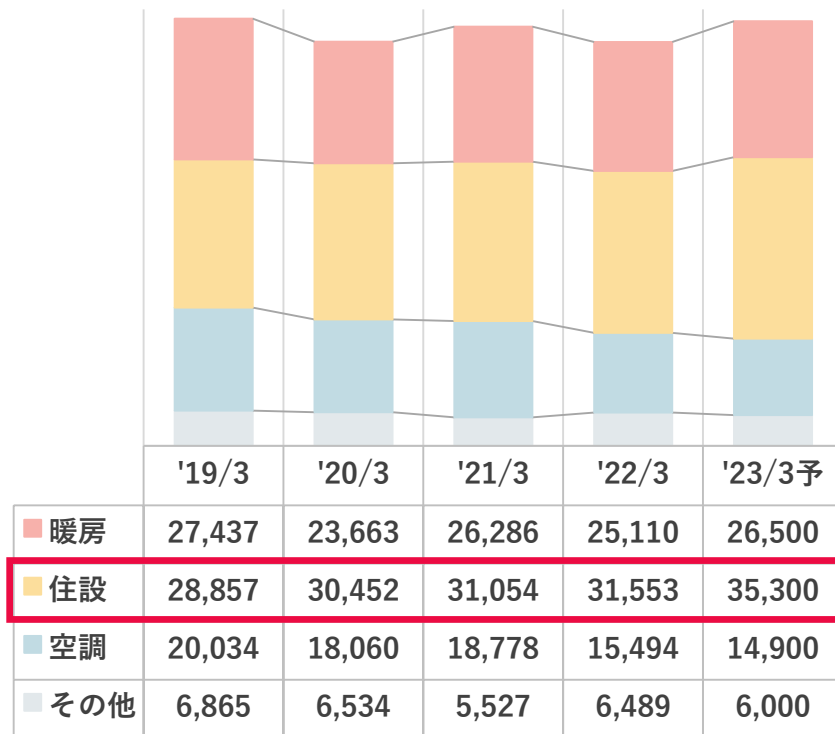
## 主な増減要因

- 売上高は主に住宅設備機器の販売台数増加及び各製品における単価アップを見込む
- 売上増加に伴い各利益も増加見込み

# 連結売上高・製品種類別構成推移

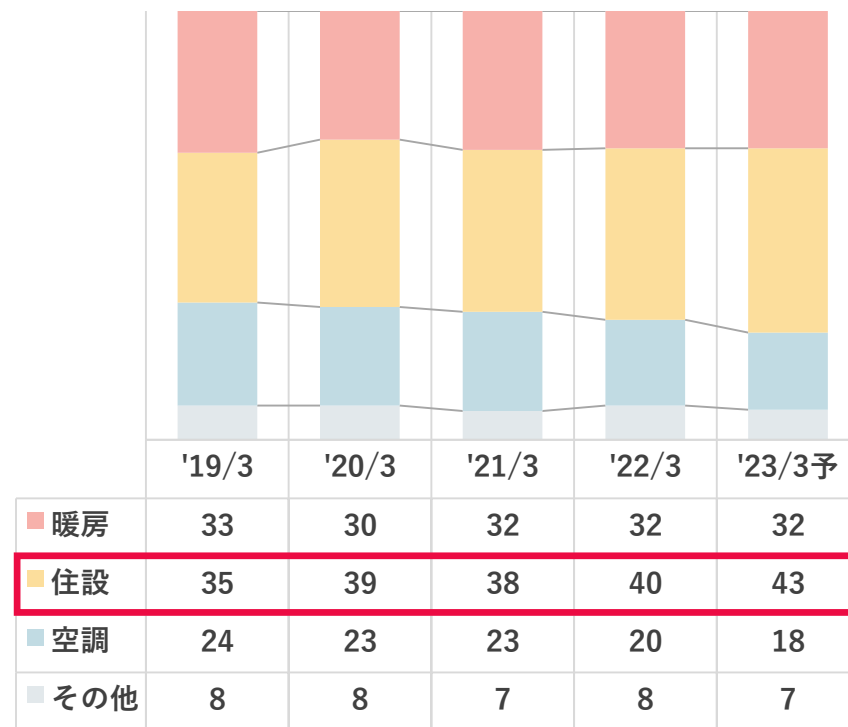
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)



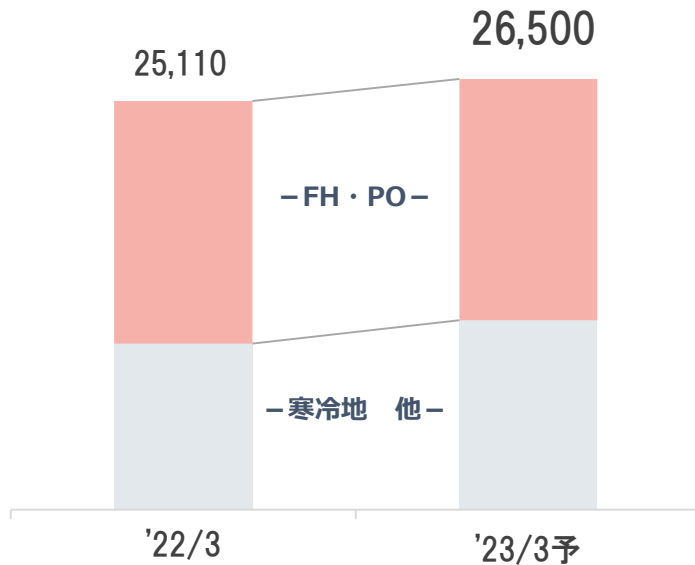
※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用していません。

## トピックス

- 給湯・住設システム等の販売強化で住宅設備機器の構成比を高め、季節要因による変動を抑え、売上高の平準化を図る方針
- 住宅設備機器の構成比は前年の40%から43%に上昇する見込み

### 売上高推移

(単位：百万円)



### 主な増減要因

● 前期比 +1,389百万円

- ・ 寒冷地を中心に根強い需要があり、災害時などのレジリエンス性も持つ石油暖房機は燃烧技術、省エネ性といった当社の強みを生かし拡販を図る

- ・ 都市部を中心に需要拡大を見込む電気暖房などの他熱源を用いた暖房商品の拡充を図るべく開発を推進



石油ファンヒーター (FH)  
足もとの暖かさ  
速暖性・経済性



ポータブル石油ストーブ (PO)  
電源不要  
節電・防災としても



寒冷地向け石油暖房機  
冬の暮らしをデザイン  
上質な暖かさ・本格暖房



遠赤外線電気暖房機  
豊富な遠赤外線  
ヒートショック対策にも



自然対流形電気暖房機  
オイルレスヒーター  
空気の質へのこだわり



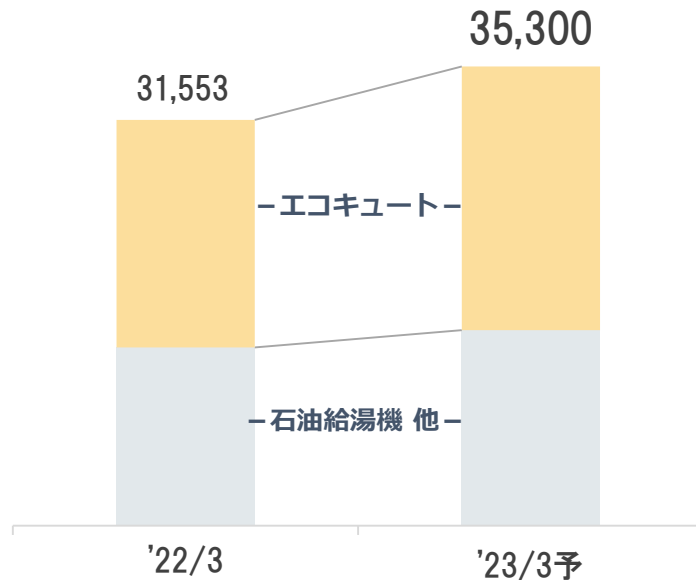
# トピックス 暮らす楽しみ(心はずむ毎日)を生み出す



アウトドアブランド「キャプテンスタッグ」 コラボ商品

### 売上高推移

(単位：百万円)



### 主な増減要因

● 前期比 +3,746百万円

- ・エコキュートはZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及拡大や買い替え需要が高まる中、需要の取り込みを図る
- ・安定的な需要のある石油給湯機は高付加価値商品への切り替え推進、環境負荷低減商品の拡販を進める



石油給湯機  
高効率  
エコフィール



エコ暖  
上質な冷暖房  
高効率ヒートポンプ



ジオシスハイブリッド  
再生可能エネルギー  
地中熱ヒートポンプ



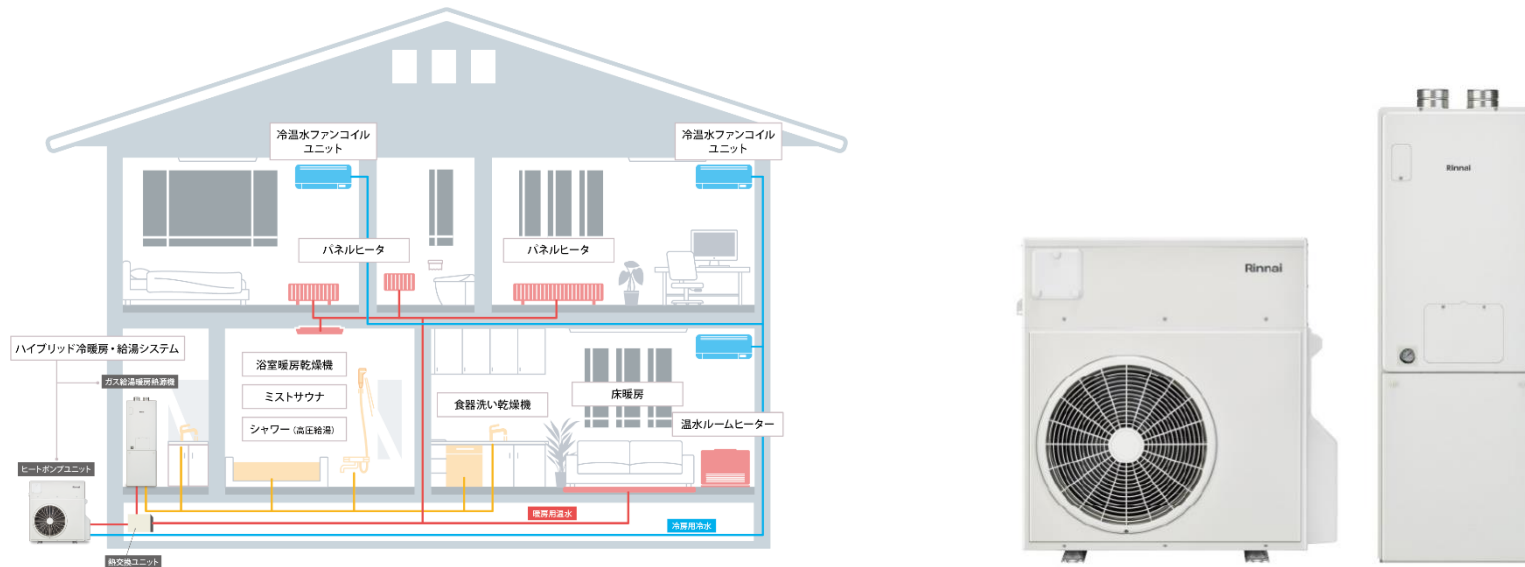
エコキュート  
省エネ性能トップクラス  
ソーラーモード搭載



アクアエア商品  
(左から) ナノリッチ、ナノリフレ、ナノフィール  
独自のマイナスイオン発生技術

## トピックス 協業の取り組み

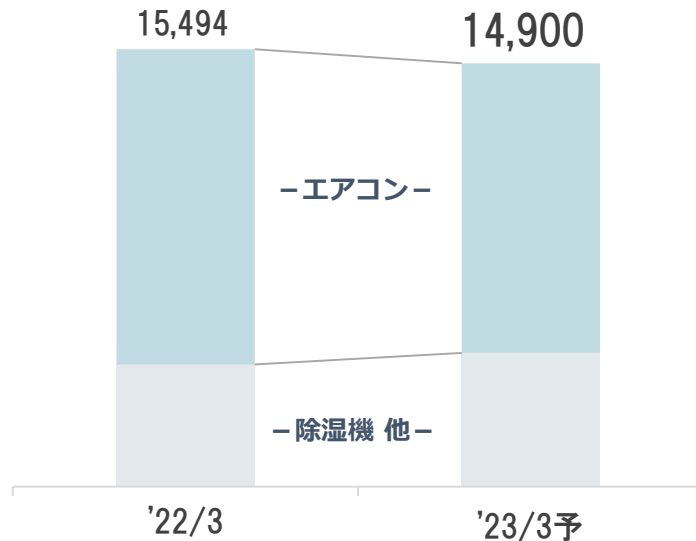
給湯・暖房・冷房が1システムで可能



- 昨年は「寒冷地向けハイブリッド冷暖房・給湯システム」を共同開発、今期も大手ガス機器メーカーへ当社のヒートポンプユニットを供給予定
- 環境配慮型商品の拡大と多様化するエネルギーに対応した商品開発を推進

### 売上高推移

(単位：百万円)



### 主な増減要因

● 前期比  $\Delta$ 594百万円

- ・ ルームエアコンはメーカー間の販売競争が一層激化すると予想されるもIoT技術の活用や清潔性を追求した最高級シリーズ、特色ある商品ラインアップの強みを訴求、柔軟な生産・供給体制で販売拡大に取り組む
- ・ 衣類乾燥除湿機、冷風機の高シェアを継続、快適性・清潔性を追求した商品開発を推進



ルームエアコン  
冷房専用、寒冷地向けも  
ラインアップ



ウインドエアコン  
根強い人気  
工事不要、簡単取付



冷風・衣類乾燥機  
1台3役の「どこでもクーラー」



除湿機  
パワフル除湿とスピーディな衣類乾燥  
コンプレッサー式の低消費電力



**コロナ快適ホームアプリ**

スマートフォンで我が家のエアコンとエコキュートをカンタン操作。  
自宅や離れて暮らすご家族の見まもりもできる便利なアプリです。(無料)

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

エアコンでの遠隔操作・  
みまもりサービス開始

2022.3月  
発売



ふんわり感  
約30%  
アップ!  
(当社調べ)

自然乾燥時

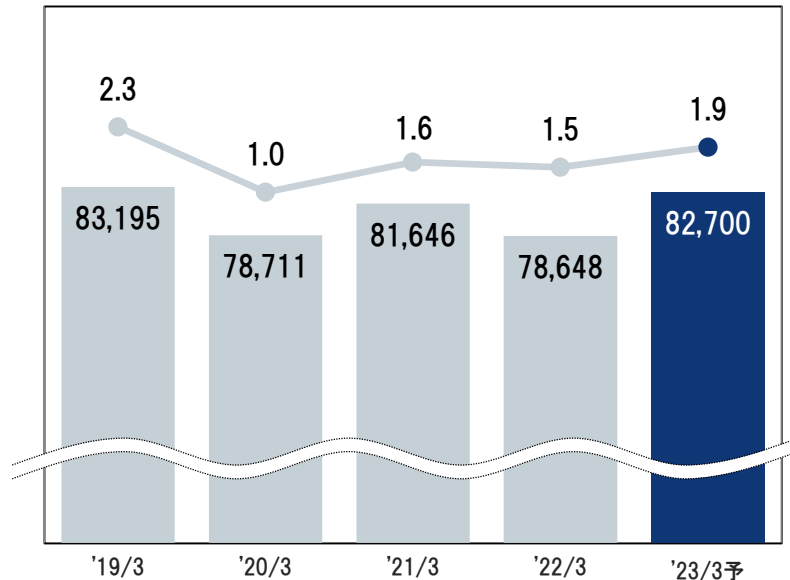
速乾Wルーバースポット乾燥時

衣類乾燥除湿機のラインアップ強化

# 通期 連結財務諸表の推移

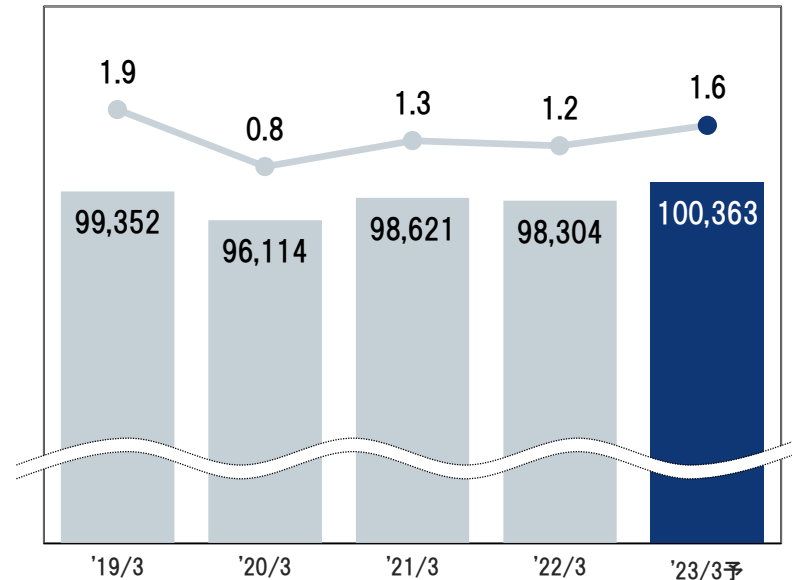
## 売上高・経常利益率

(単位：百万円・%)



## 総資産・ROA

(単位：百万円・%)



(ROA：総資産経常利益率)

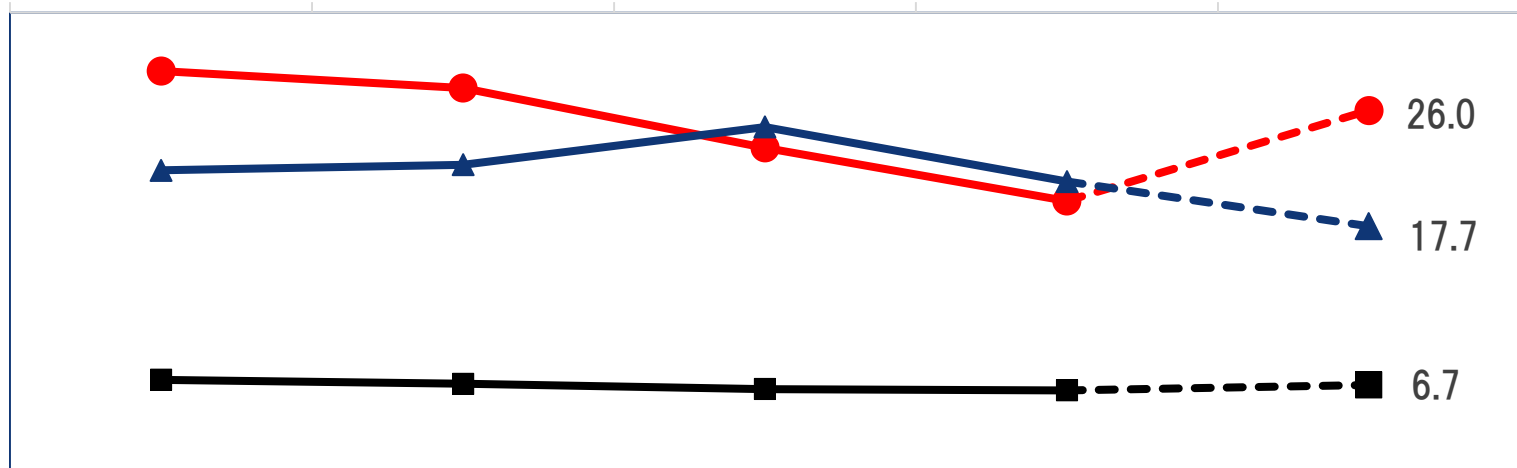
※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

## 資本政策の方針

- 持続的な成長のための投資と、事業特性によるリスク等を許容する健全な財務体質を確保することと、安定的・継続的な株主還元を実施する基本方針

## 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移（連結）

（単位：億円）



	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3予
● 設備投資	28.8	27.6	23.3	19.5	26.0
▲ 減価償却	21.7	22.1	24.8	20.9	17.7
■ 研究開発	7.1	6.8	6.4	6.3	6.7

## トピックス

- 設備投資 : 新商品の金型、生産合理化、IT投資の増強  
（費用化投資含む）
- 減価償却 : 金型投資、機械設備の償却
- 研究開発 : 新商品開発、商品ラインアップ拡充

## 2023年3月期 年28円の配当を予定

## ●基本方針

長期的視野に立ち、収益動向・配当性向を見据え、将来の事業展開と事業の特性を考慮した内部留保等を勘案しながら、継続した安定配当を実施

◇売上高の拡大および収益性の向上により、長期的・総合的観点から株主の皆様の利益確保を図る

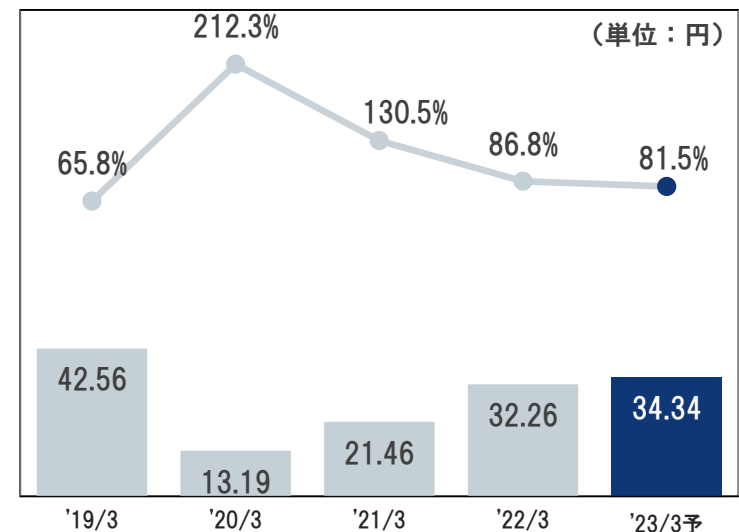
## 1株当たり配当金の推移

(単位：円)

	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3予
中間配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
期末配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
合計	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
1株利益	42.56	13.19	21.46	32.26	34.34
配当性向	65.8%	212.3%	130.5%	86.8%	81.5%

## 1株利益・配当性向

(単位：円)



※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」

(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。



お問い合わせ先

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

株式会社 コロナ 総合企画部広報室

TEL : 0256-35-8558

FAX : 0256-36-6523

E-mail : [info@hode01.corona.co.jp](mailto:info@hode01.corona.co.jp)

# 参考資料

- 会社概要
- 主な沿革
- 経営理念：コロナイズム
- 企業ミッション
- こだわりのメイドイン・新潟
- 工場の自動化・IT活用の取り組み
- 売上高構成と主な製品

# 会社概要 (2022年3月31日現在)

- ・ 創 業 1937年(昭和12)4月
- ・ 本 社 新潟県三条市東新保7番7号
- ・ 資 本 金 74億4,960万円
- ・ 単元株主数 11,645名(対前期末比 +1,813名)
- ・ 事業内容 暖房機器、空調・家電機器、住宅設備機器の製造、販売等
- ・ 主な事業所
  - 研究所 技術開発センター(三条市)、柏崎技術センター(柏崎市)
  - 生産拠点 新潟県内8工場(三条、柏崎、長岡、子会社5工場)
  - 営業拠点 支店11、営業所56
- ・ 従業員数 2,240名(連結)(対前期末比 Δ43名)
- ・ 関係会社数 連結子会社12社、関連会社1社



1954年当時の開発風景  
(本社：歴史展示ホール)



本社：技術開発センター

# 主な沿革

1930年～

1937年（昭和12）  
新潟県三条市  
にて創業

1952年（昭和27）  
日本初  
加圧式石油コンロ発売



1955年（昭和30）  
日本初  
加圧式石油ストーブ発売



1970年～

1973年（昭和48）  
石油給湯機発売



1979年（昭和54）  
エアコン市場参入



石油ファンヒーター発売



1992年（平成4）  
商号を「株式会社コロナ」  
に変更

2001年（平成13）  
世界初 自然冷媒（CO2）  
ヒートポンプ式給湯機  
「エコキュート」  
発売



2010年～

2006年（平成18）  
東証一部上場

2008年（平成20）  
電気暖房  
市場参入



2014年（平成26）  
業界初 地中熱・空気熱  
ハイブリッド温水暖房  
システム発売



2020年～

2017年（平成29）  
創業80周年

2019年（令和元）  
リブランディング  
つぎの快適をつくろう。  
**CORONA**

自然対流形電気暖房機  
「NOILHEAT（ノイルヒート）」  
発売



2021年（令和3）  
エアコンブランド制定  
**Relala**  
リララ

# 経営理念：コロナイズム

## 企業理念

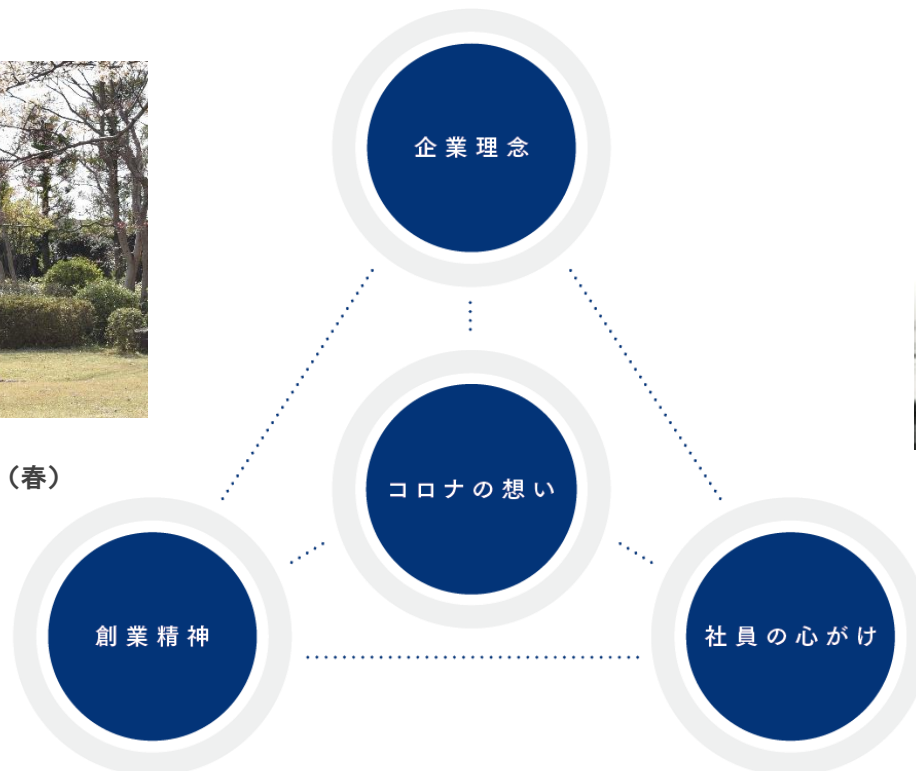
あなたと共に  
 夢…新たなライフシーン…を実現しお客様に喜んでいただけるコロナ  
 ~快適・健康で環境にやさしい心豊かな生活になくはないコロナでありたい~



本社技術開発センター前（春）



36 豪雪時猛吹雪の中  
ストーブを担ぐ社員の列



創業精神

[ 誠実と努力 ]

コロナの想い

[ 感謝と感動 ]

社員の心がけ

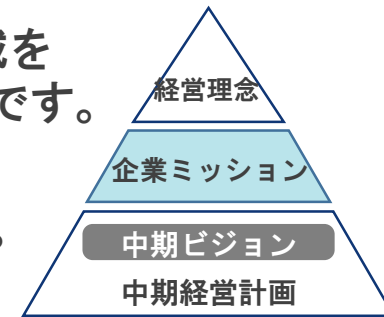
[ 創造と協創 (げんこつの理) ]

[ チャレンジ For You ]

# 企業ミッション

企業ミッションは社会のニーズ・課題とコロナグループの事業領域を照らし合わせ、私たちコロナグループが果たすべき使命を示したものです。

コロナグループは広く社会や環境に貢献する存在であるために、事業活動を通じて価値を創造し、ミッションの実現を目指します。



## 快適で心はずむ毎日

体感できる快適に加え、暮らしにゆとりや彩りを。つかう人の心の満足も生み出します。

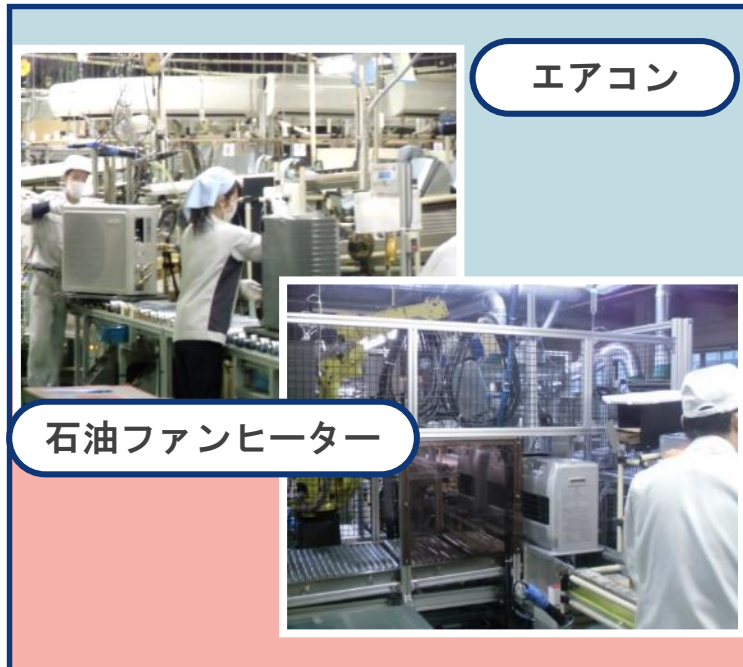
## 環境にやさしい暮らし

日々の暮らしを環境にやさしいものに。毎日つかうものだから、エネルギーを効率よく利用し、地球環境に配慮します。

## だれでもいつでも 安心な社会

だれでもつかいやすく、いつでも安心を。事業を通じて、安心してレジリエンスな社会の実現に貢献します。

## こだわりのメイドイン・新潟



「二毛作生産」で年間を通してフル稼働  
(写真は三条工場)

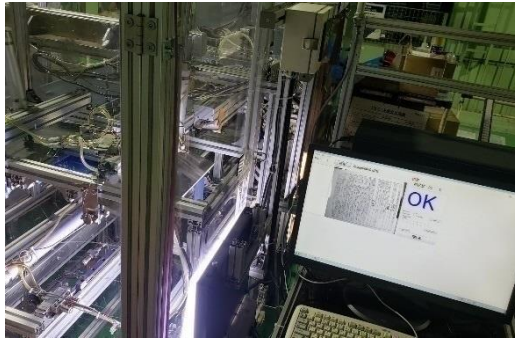


総合的品質管理の世界最高ランクの賞である  
「デミング賞実施賞」を受賞(2010年度)

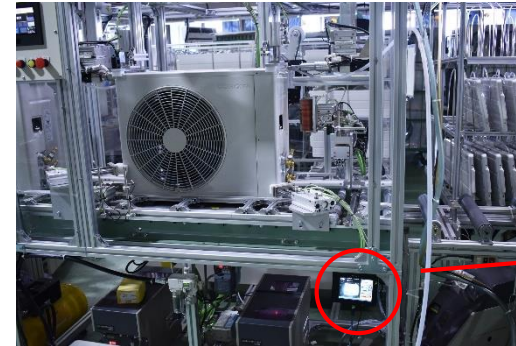
- 石油ファンヒーターとルームエアコンの「二毛作生産」から柔軟な通年生産へ
- 新潟県内の各工場で、需要状況に応じて機動的な生産体制が可能
- 合理化生産設備の積極導入、作業改善による生産性の向上を図る

# 工場の自動化・IT活用の取り組み

AIを活用した印刷部の画像検査



ねじ締め・ラベル貼付の自動化



ラベル貼付状態の画像検査



自動搬送ロボット



エアコン検査の自動化



AIやIT技術を積極活用し、作業効率を向上

- 工場内では自動化やIT技術活用による作業の効率化、品質向上の取り組みを進める
- RPA（ソフトウェアロボットによる業務自動化）を導入し、業務時間の削減も実施



# 売上高構成と主な商品

2022年3月期  
売上高：786億円

## 【住宅設備機器】



アクアエア商品



ヒートポンプ式冷暖房  
「エコ暖」シリーズ



地中熱+空気熱ヒートポンプ  
冷温水システム



石油給湯機



エコキュート

## 【暖房機器】



石油ファンヒーター



寒冷地向け大型石油暖房機



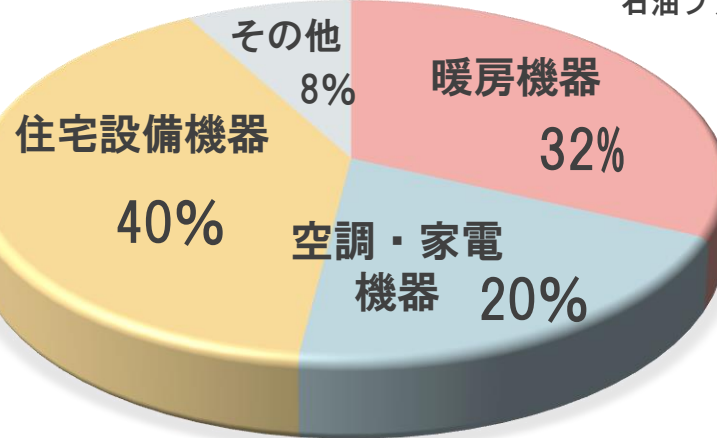
石油ストーブ



遠赤外線  
電気暖房機



自然対流形  
電気暖房機



## 【空調・家電機器】



ルームエアコン ウインドエアコン



冷風機・除湿機